2026 年 10 月 19 日
株式会社博報堂ＤＹホールディングス
株式会社博報堂

博報堂、自社グループで策定した AI ガバナンスの設計プロセスや実務ノウハウを
クライアント企業へ提供するコンサルティングサービス「AI ガバナンス・デザイン」提供開始
―企業ごとの事業特性に合わせて設計・実装、現場で機能し続ける AI ガバナンス構築を支援―

博報堂ＤＹグループの株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、博報堂ＤＹグループが自社グループの AI ガバナンスを策定・運用する過程で蓄積してきた設計プロセスや実務ノウハウ、および専門知見をもとに、クライアント企業の事業特性や組織、AI 活用状況に合わせた AI ガバナンスを設計するコンサルティングサービス「AI ガバナンス・デザイン」の提供を開始いたします。

■開発の背景

生成 AI をはじめとする AI の業務活用が全社へと広がり、その用途も画像・動画・音声の生成や顧客接点、AI エージェントによる業務実行などへ拡大しています。こうした中、AI ガバナンスは情報システム部門や法務部門だけの個別課題ではなく、組織全体として取り組むべきテーマとなっています。

一方、現場では、自社の事業や AI 活用の実態を踏まえてどこまでルールを設けるべきか分からない、ルールを整備しても十分に活用されない、利用可否の判断が担当者の感覚に依存する、想定するリスクが一部に偏るなど、さまざまな課題が残っています。

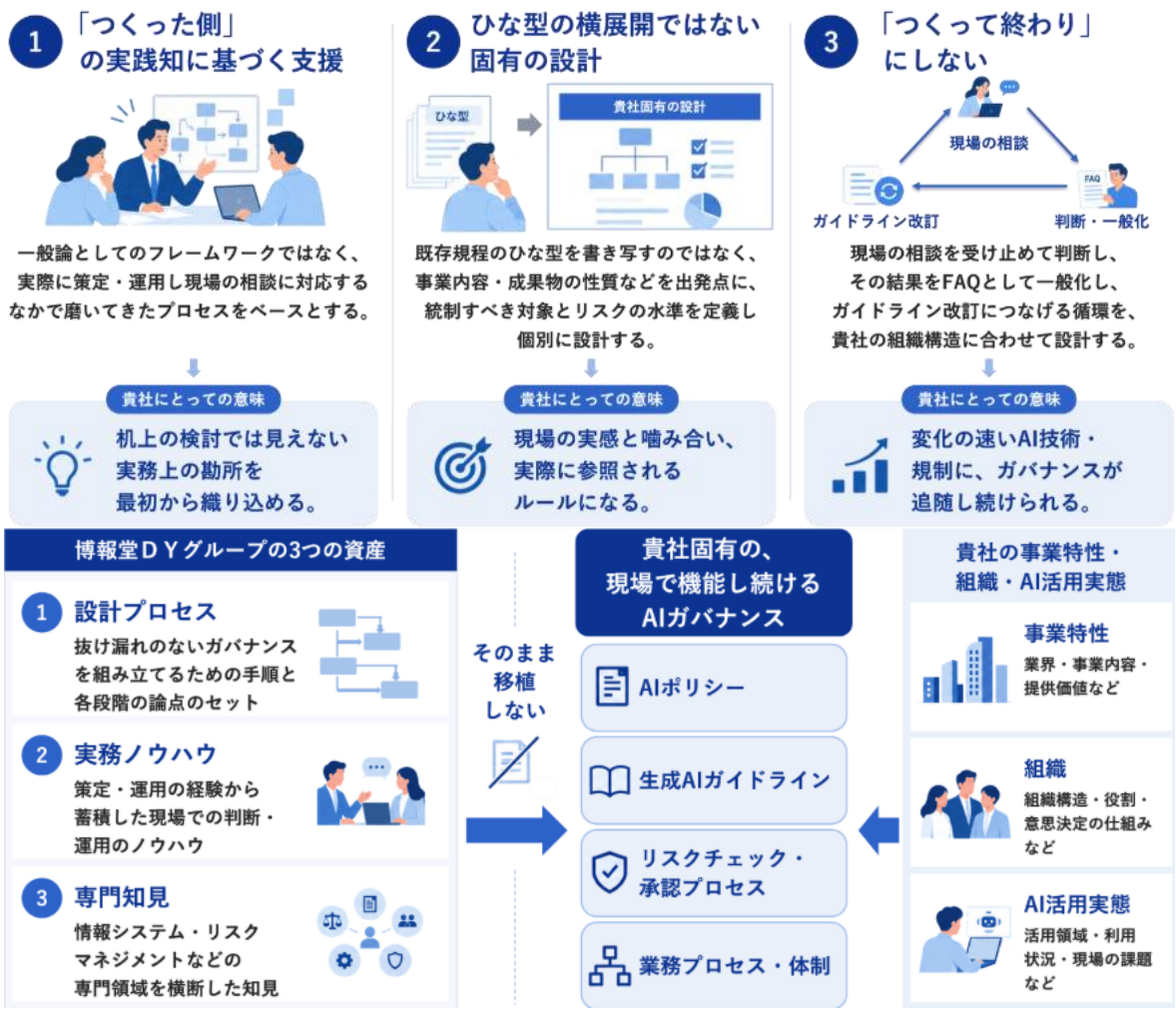
こうした課題の背景には、AI ガバナンスに一律の正解がないことがあります。事業内容や AI の活用方法、成果物の性質、組織構造は企業ごとに異なるため、他社の規程や一般的なフレームワークをそのまま取り入れるのではなく自社の実態に合わせて設計し、実際の業務の中で運用・更新していくことが重要です。

■本サービスの特長

「AI ガバナンス・デザイン」は、一般的なフレームワークや既存のひな型をそのまま適用するのではなく、博報堂ＤＹグループが自ら AI ガバナンスを策定・運用する中で培った実践知をもとに、クライアント企業の事業特性や AI 活用の実態に合わせて個別に設計します。また、ルールを策定して終わるのではなく、現場で生じる相談や判断を FAQ やガイドラインの改訂につなげる運用の仕組みまで設計することで、AI 技術や規制の変化に追随し、現場で機能し続ける AI ガバナンスの構築を支援します。

■本サービスで提供するもの

「AI ガバナンス・デザイン」では博報堂ＤＹグループが自ら AI ガバナンスを策定・運用する中で培ってきた設計プロセス、実務ノウハウ、専門知見をもとに、クライアント企業の事業特性や組織体制にあわせて、AI ポリシーや生成 AI ガイドライン、リスクチェック・承認プロセス、業務プロセス・体制などを個別設計します。



■本サービスの進め方

クライアント企業の既存のガバナンス状況や適用範囲、AI 活用の実態に応じて、以下の 5 つの STEP を基本として、個別設計します。適用範囲の確認からリスクや現状の棚卸し、企業固有の AI ガバナンス設計、実際の業務で運用するための手段の具体化まで、一貫して支援します。



博報堂は今後も、博報堂ＤＹグループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、自社グループで AI ガバナンスを策定・運用する中で培ってきた知見を活かし、企業が AI を止めることなく、安心して活用できる状態の実現に向けて、伴走パートナーとして支援してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂　広報室　大貫・丸山　koho.mail@hakuhodo.co.jp

株式会社博報堂ＤＹホールディングス　　グループ広報・ＩＲ室　koho.mail@hakuhodo.co.jp